

みずほCustomer Desk Report 2023/07/18 号(As of 2023/07/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	138.71	1.1228	155.62	1.3090	0.6837
SYD-NY High	139.40	1.1249	156.33	1.3109	0.6860
SYD-NY Low	137.99	1.1205	155.12	1.3051	0.6788
NY 5:00 PM	138.70	1.1238	155.87	1.3074	0.6817

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,585.35	76.32	日本2年債	-	-
NASDAQ	14,244.95	131.25	日本10年債	-	-
S&P	4,522.79	17.37	米国2年債	4.7414%	▲0.0243%
日経平均	-	-	米国5年債	4.0163%	▲0.0281%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.8078%	▲0.0215%
シカゴ日経先物	32,390.00	20.00	独10年債	2.4495%	▲0.0245%
ロンドンFT	7,406.42	▲ 28.15	英10年債	4.4285%	▲0.0135%
DAX	16,068.65	▲ 36.42	豪10年債	3.9870%	0.0220%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	11.04%	0.32%
上海総合	3,209.63	▲ 28.07	USDJPY 3M Vol	10.09%	0.07%
NY金	1,956.40	▲ 8.00	USDJPY 6M Vol	9.71%	0.04%
WTI	74.15	▲ 1.27	USDJPY 1M 25RR	▲1.44%	Yen Call Over
CRB指数	267.90	▲ 2.89	EURJPY 3M Vol	9.85%	0.05%
ドルインデックス	99.84	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	9.62%	

アジア	オセアニア時間に139円台をつけてスタートしていたドル円は、上値重いまま138.71レベルでアジア時間オープンすると、そのまま朝方に138.37レベルまで下押し。この日は東京休場で明確な材料に欠け中、香港も台風休場で流動性薄く、すぐに下げ止まった後は138円台半ばを中心に狭い値幅でもみ合い推移となった。結局、138.56レベルでアジア時間クロス。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.56レベルでオープン。米金利低下を背景に137.99まで売られる。その後クロス円の上昇を伴って反発し、結局138.35レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台後半でスタート。東京市場が休場の中、アジア時間では中国第2四半期GDPと6月小売売上高が予想を下回り、人民元が対米ドルで弱まる中、ドル円も小幅上昇する。その後は米金利低下に反応し、一時137円台後半まで下落するも、オープン直前に小幅反発し、138.35レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月ニューヨーク連銀製造業景気指数の予想より良好な内容を受け、ドル買いが優勢となり、139.40まで上昇。しかし、買い一巡後は失速し、139円台を割り込み、138円台後半まで反落する。午後は米金利が低水準で推移する展開が上値を抑え、じり安での推移が続き、138.70レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.12台前半でスタート。1.1230近辺を挟んだ推移が続き、1.12台半ばまで上昇する場面も見られたが、先述の冴えない中国経済指標の結果を受け、欧州株安の展開となる中、ユーロドルも連れ安となり、1.1234レベルでNYオープン。朝方はドル買いが強まる中、1.1205まで値を下げる。その後、ナゲル独中銀総裁が「7月会合では25bpの追加利上げを想定している」との見方を示すと、買戻しが優勢となり1.12台半ばまで戻す。午後ユーロ高の流れが続き、終盤に高値の1.1246を付け、1.1238レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当・鈴木・松木

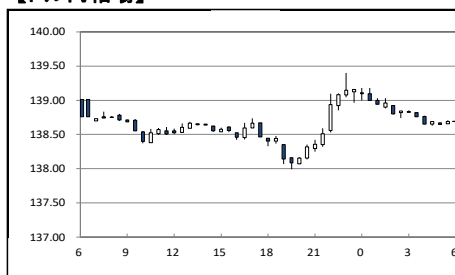
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月17日	11:00	中 GDP(前年比)	2Q 6.3%	7.1%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	6月 4.4%	2.5%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	6月 3.1%	3.3%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月 1.1	-3.5

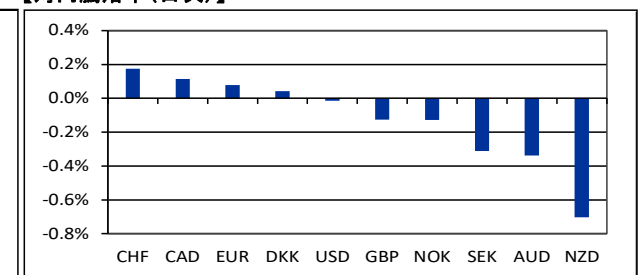
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月18日	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	6月 0.5%	0.3%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	6月 0.3%	0.1%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月 0.0%	-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.80-139.50	1.1180-1.1300	154.50-156.50

【マーケット・インプレッション】

14日のドル円は138.06でオープン。日銀の政策修正観測報道に、一時137.25まで下落するも、その水準で下げ止まる。その後じりじりと水準を戻す中、ミシガン大学消費者マインドの好結果に139円台前半まで上昇する場面もあったが、勢いは長続きせず。138円台後半で値を戻すと、週明け17日も東京休日の中しばらくは上値の重い推移。NY連銀製造業景況指数の予想比良好な結果に、一時139.40まで上値を伸ばすも、買い一巡後は失速し138.70でクローズした。週末、週明けと米経済指標は好結果が続いたものの、いずれもドル買いの勢いは長続きしなかった。ドル円においては139円台前半で押し返される値動きが続いており、この水準での売り需要は相当旺盛なことが推測される。一部では日銀の政策修正期待も高まる中、引き続き上値の重い値動きになることを予想する。